

科目名	ワークショップ 4						年度	2026	
英語科目名	Workshop 4						学期	後期	
学科・学年	放送芸術科 2年次	必/選	選	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員	外部担当者	教員の実務経験		有	実務経験の職種		放送業務		
【科目の目的】 学校行事の配信業務や自主制作、産学連携課題への参加、資格取得へのチャレンジをすることで授業だけでは学べない、社会性やクライアントへの対応などを身に付けることを目的とします。									
【科目の概要】 クリエイターのためのテーマごとの講座です。 (開講期間未定、内容に関して開講時に決定)									
【到達目標】 クリエイターに必要な知識、スキルを身につけることを目標とします。									
【授業の注意点】 授業中の私語、携帯端末等の使用も禁止します。特に私語は講義の進行妨害、他の生徒が講義を受けることへの妨害行為となることから厳禁です。専門学校は専門知識や技術の習得だけを目的とするものではありません。学生から社会人への移行の場でもあります。社会人としてのマナーや心構えも身につけてほしいです。 ただし、授業時数の4分の3以上の出席が必要です。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	業務について理解し、周囲への配慮や物事への関心を示し意欲的に参加している		業務について理解し、周囲への配慮ができているが、物事への関心がまだ足りない				業務について理解しているが、周囲への配慮や物事への関心がまだ足りない		
到達目標 B	クライアントの求めを理解し、事前準備や的確な提案ができ、課題に対して積極的に参加している		クライアントの求めを理解しているが、事前準備が疎かや的確な提案ができない、課題に対しては積極的に参加している				クライアントの求めを理解できず、事前準備が疎かや的確な提案ができない、課題に対しては積極的に参加している		
到達目標 C	資格、検定合格のために熱心に勉強に取り組み、努力した結果、みごと合格を掴み取れた		資格、検定合格のために熱心に勉強に取り組み、努力したが、合格をすることが出来なかった				資格、検定合格のために勉強を疎かにして、合格をすることが出来なかった		
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。自己分析シート提出。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ワークショップ4			年度	2026
英語表記		Workshop 4			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	クリエイターの為の授業	クリエイティブなスキルを上げる為に学ぶ	1 産学連携	的確な提案、課題に対する積極性	3	
			2 配信業務	業務理解や仕事の完成度		
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等